

三年生の声かけ

二田市東小学校三年 林 千紘

わたしは、発表することが苦手でした。それは一年生の時、間ちがえた発表をしてしまい、クラスみんなのはんのうに、きずついてしまったことがあったからです。二年生になって、ゆう気をだして発表しましたが、また間ちがえてしまい、発表をすることに自しんをなくしてしまいました。

三年生になったある日、先生の「一人一人の発表で、みんながたくさん考えるきっかけになって、なるほど！や、何でだろう？が、大きくなるんだよ。」

という言葉で、わたしは、こわがらずにきょ手して発表をできるようになりました。このクラスは、だれかが間ちがえてしまったと思って、おちこんでいたりしたら、「〇〇さんにつないで発表します。」

「他の意見があります。」

など間ちがえた人が安心したり、うれしくなったりするような声かけをしてください。その声かけによって、さらにわたしは発表をたくさんできるようになりました。

そんな自分のクラスを、わたしはほこらしく思っています。

これからクラスがかわっても、それぞれがこのクラスのいいところを大切にしてください。やさしさや思いやりにあふれた学校になると、わたしは思います。

何気ない一言で、きずつくこともあれば、わたしのうちにゆづ氣をもらうこともあります。

わたしも、先生の言葉を信じて、クラスで大切にしている「相手の気持ちをよく考えた声かけ」で、わたしのうちに、ゆづ氣をもてる友だちをふやしていこうと思います。